
景 気 動 向 調 査 結 果

— 平成27年第Ⅱ四半期（4月～6月期）分 —

平成27年8月

高山市商工観光部商工課

調査の概要

- 1 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータより無作為抽出（層化抽出）し、
郵送の方法によるアンケート調査
- 2 調査対象 市内の企業 500社
- 3 調査時期 平成27年 7月上旬
- 4 回収状況 配布数 500社
有効回収数 177社 (有効回収率 35.4%)

※ 業種別回収状況

建設・土木業	27社	(32.1%)
製造業	32社	(34.4%)
卸売・小売業	40社	(39.2%)
飲食業	23社	(29.1%)
旅館業	29社	(36.7%)
その他	26社	(41.3%)

計 177社 (35.4%)

※・農林水産業は、調査していない。

・その他の業種は、「サービス（旅館業除く）・運輸通信・金融保険・不動産業」をいう。

【参 考】

DI (Diffusion Index) 値

DIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各項目ごとの「増加（上昇・好転・長期化）企業割合」と「減少（低下化・短期化）企業割合」の差を示すものです。
「上昇（増加など）の割合 - 下降（減少など）の割合」

・はじめに

平成27年7月に実施しました、景気動向調査（平成27年4月～6月期）の結果について、とりまとめましたのでご報告いたします。

・概況

・販売（売上）の動向

前年同期比の産業全体の販売高DI値は1.8となり、前回（▲21.2）より23.0ポイント増加した。

前期比のDI値は10.3で、前回（▲34.6）より44.9ポイント増加した。

・景気の動向

今期の景気動向について、前期比のDI値は2.9となり、前回（▲31.5）より33.4ポイント増加した。

また、来期見込のDI値については、今期より0.6ポイント減少し、2.3となっている。

・雇用の状況

今期の雇用している人員が「過剰」と回答した事業所の割合は8.1%で、前回（13.2%）より5.1ポイント減少し、「不足」と回答した事業所の割合は29.3%で、前回（29.0%）より0.3ポイント増加した。

来期について「過剰」と回答した事業所の割合は6.3%で、今期の雇用状況と比較して1.8ポイント減少している。「不足」と回答した事業所の割合は32.2%で、今期の雇用状況と比較して2.9ポイント増加している。

有効求人倍率については、6月期で1.30となっており、前回調査3月期（1.11）と比較すると0.19ポイント増加している。

・設備投資

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は21.4%で、前回（23.9%）より2.5ポイント減少した。また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合が33.7%で、今期の設備投資実績より増加傾向にあるが、前回調査（34.6%）より0.9ポイント減少している。

1. 販売（売上）の状況

前年同期比の販売高D I 値、前期比の販売高D I 値とも増加

1-1 前年同期比

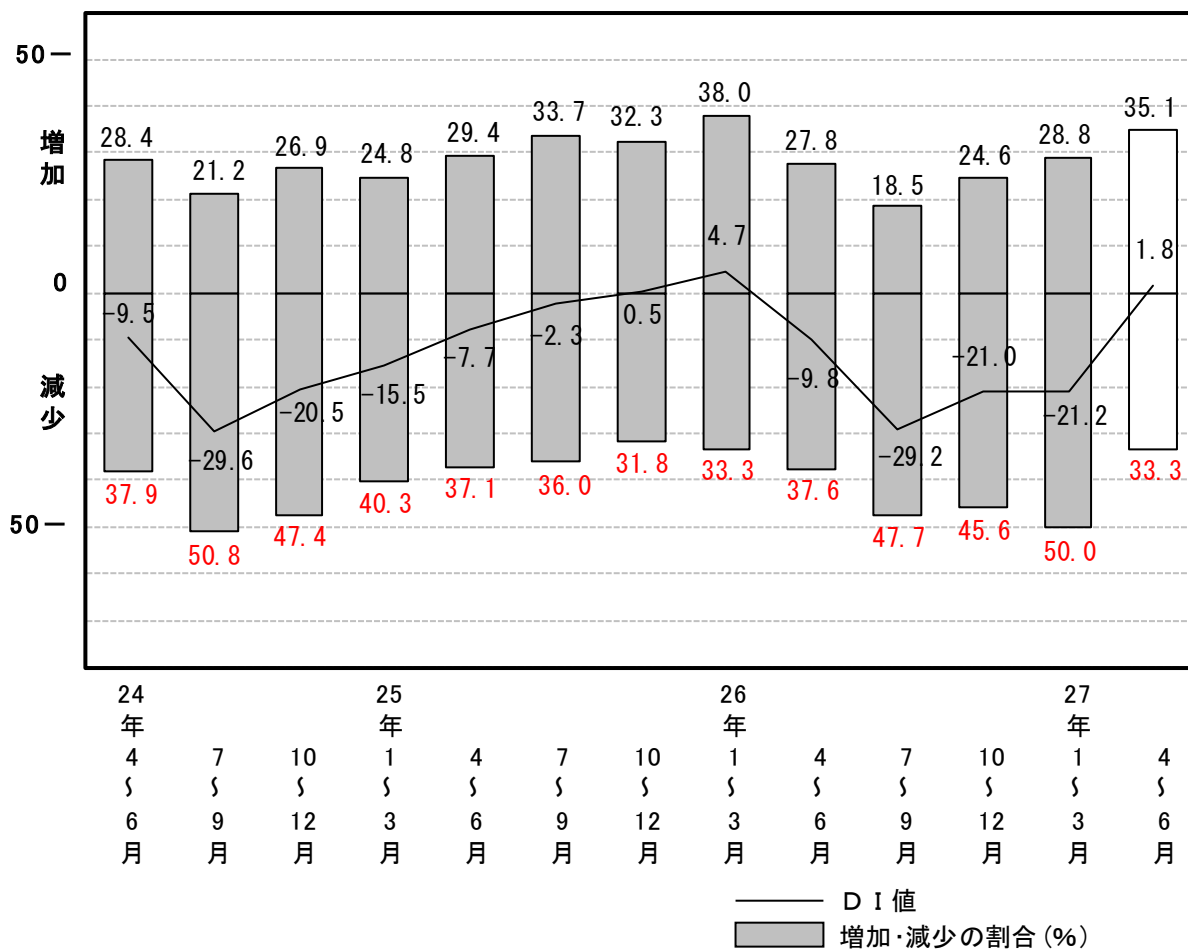
販売高が前年同期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は35.1%で前回（28.8%）より6.3ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は33.3%で前回（50.0%）より16.7ポイント減少した。その結果、今期の販売高D I 値は1.8となり、前回（▲21.2）より23.0ポイント増加し、プラスに転じている。

（第1図 参照）

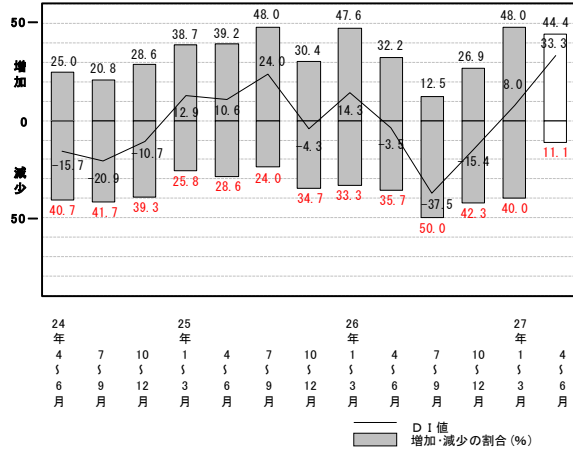
業種別のD I 値を分析すると、すべての業種においては前回調査よりも増加している。

（参考図 販売高D I 値の推移（各業種 前年同期比） 参照）

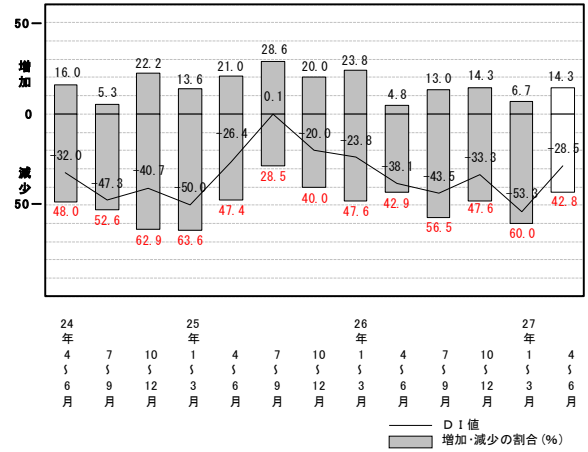
第1図 販売高D I 値の推移（前年同期比）



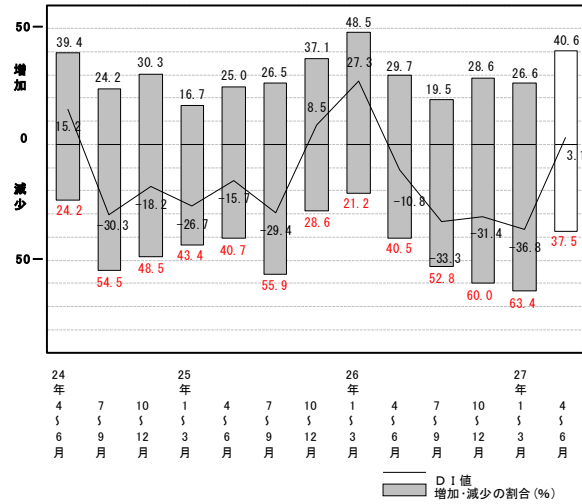
参考図 販売高D I 値の推移（建設・土木業 前年同期比）



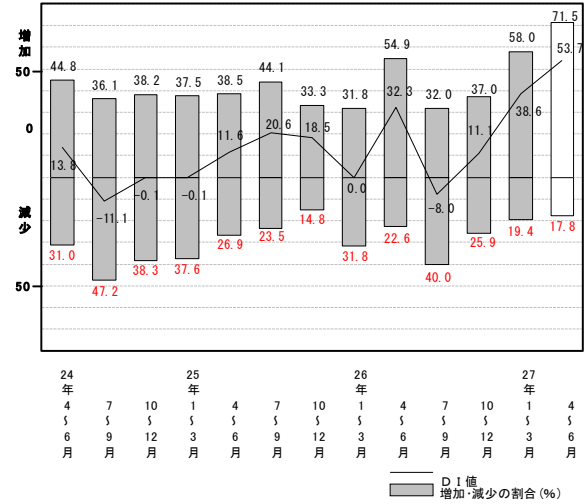
参考図 販売高D I 値の推移（飲食業 前年同期比）



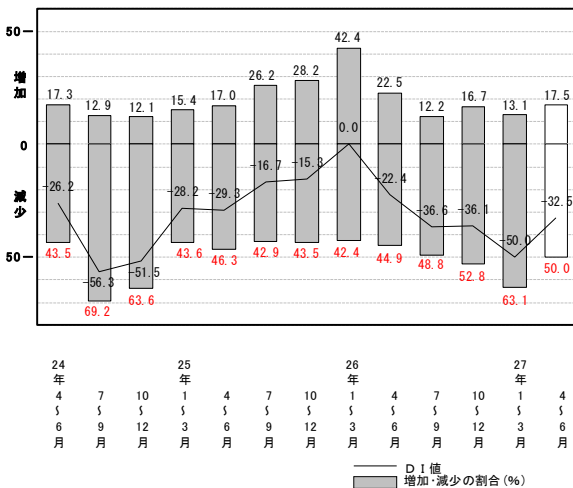
参考図 販売高D I 値の推移（製造業 前年同期比）



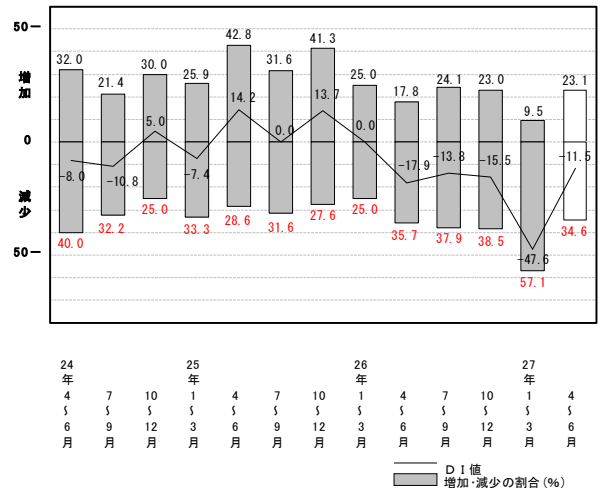
参考図 販売高D I 値の推移（旅館業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（卸売・小売業 前年同期比）



参考図 販売高D I 値の推移（その他 前年同期比）



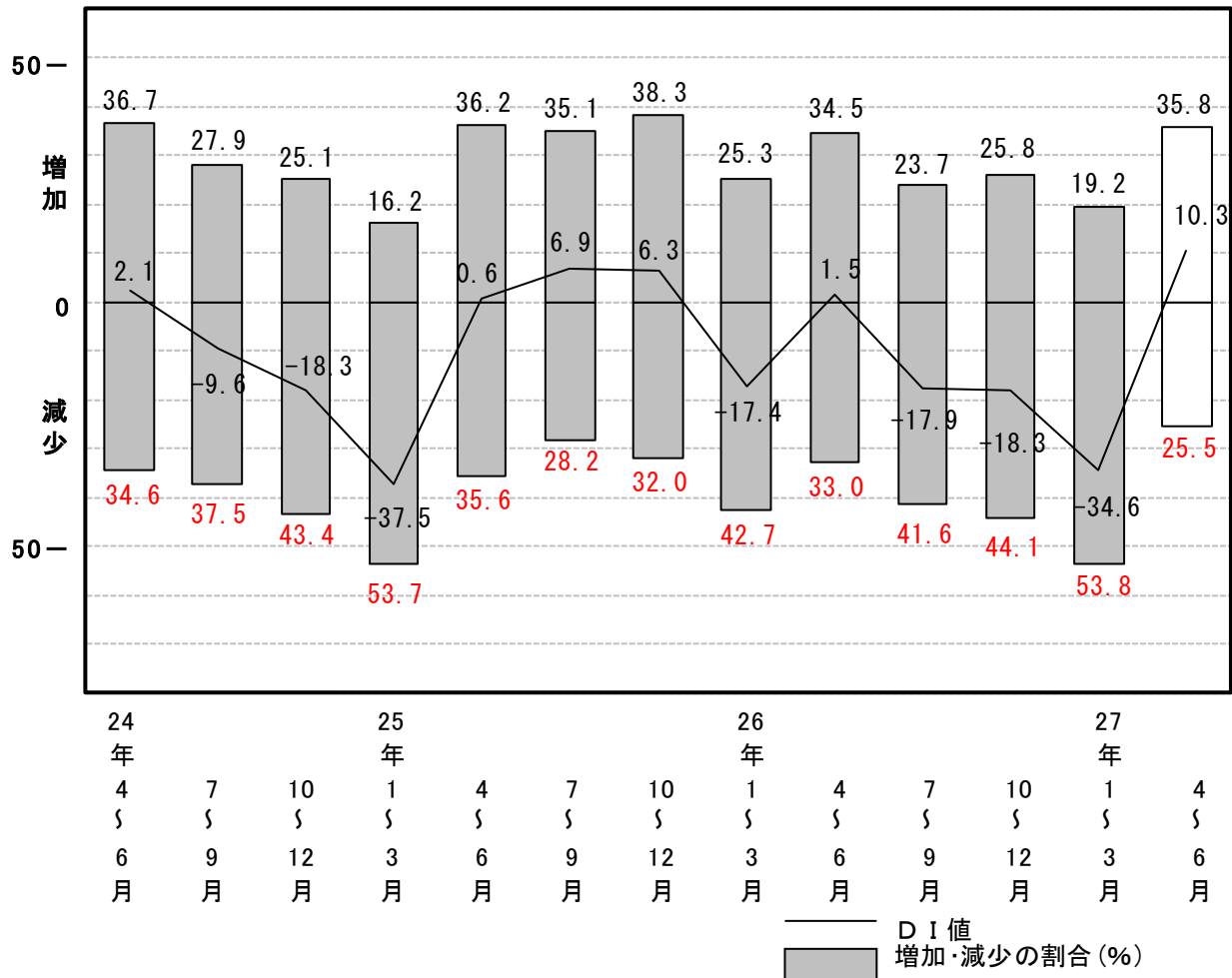
1-2 前期比

販売高が前期と比較して、「増加した」と回答した事業所の割合は35.8%で前回(19.2%)より16.6ポイント増加し、「減少した」と回答した事業所の割合は25.5%で前回(53.8%)より28.3ポイント減少した。その結果、今期のD I値は10.3となり、前回(▲34.6)より44.9ポイント増加し、プラスに転じている。(第2図 参照)

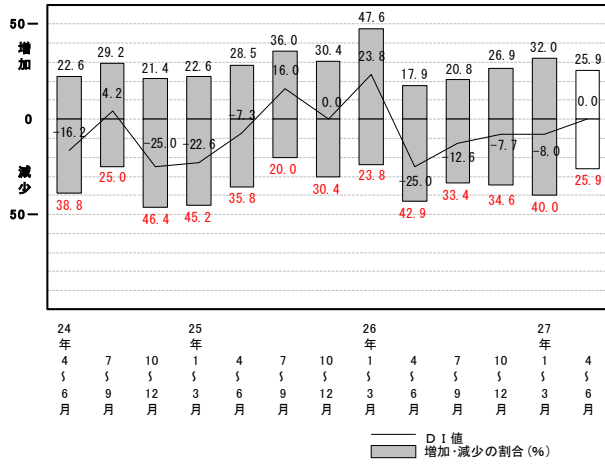
業種別のD I値を分析すると、全ての業種において前回調査より増加しており、「製造業」「飲食業」「旅館業」「その他」においては、D I値がプラスに転じている。4~6月期を比較した場合、昨年の「建設業」を除いては、どの年も増加傾向にあり4~6月期の前期比のD I値の増加傾向は、季節的要素が強いと思われ、概ね例年通りの傾向となっている。

(参考図 販売高D I値の推移(各業種 前期比) 参照)

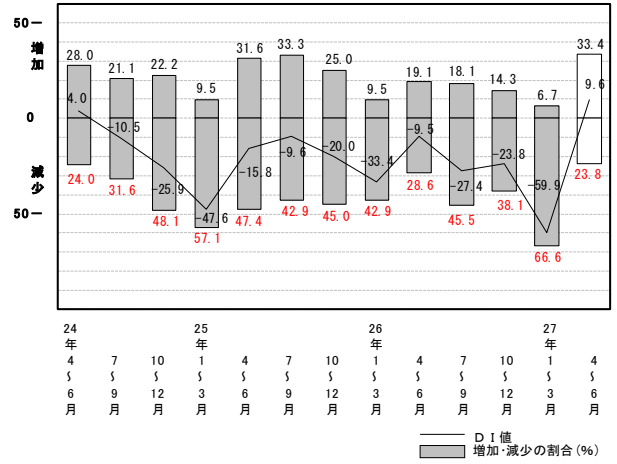
第2図 販売高D I値の推移(前期比)



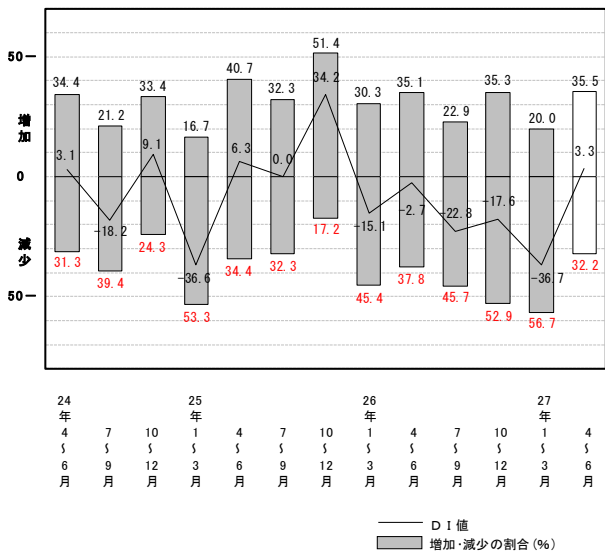
参考図 販売高DI値の推移（建設・土木業 前期比）



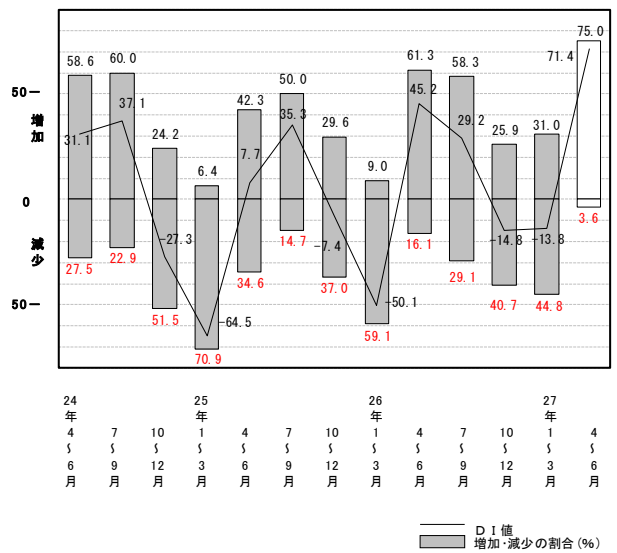
参考図 販売高DI値の推移（飲食業 前期比）



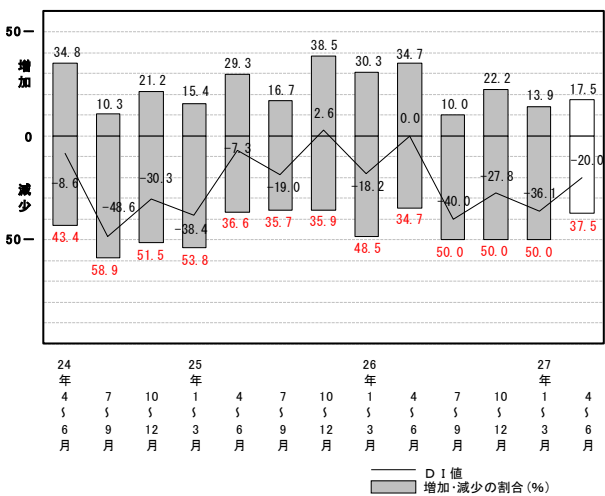
参考図 販売高DI値の推移（製造業 前期比）



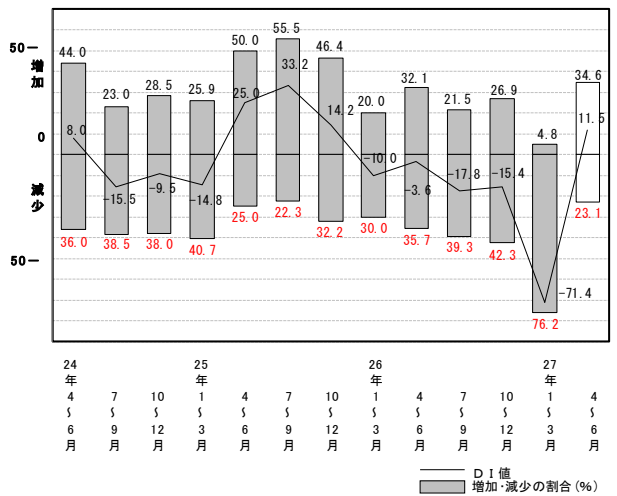
参考図 販売高DI値の推移（旅館業 前期比）



参考図 販売高DI値の推移（卸売・小売業 前期比）



参考図 販売高DI値の推移（その他 前期比）



2. 景気の動向（自社の景気）

景気動向のD I 値は上昇、来期見込はやや下降傾向

自社の景気動向について今期のD I 値をみると、産業全体としては2.9となり前回（▲31.5）より34.4ポイント増加した。（第3図 参照）

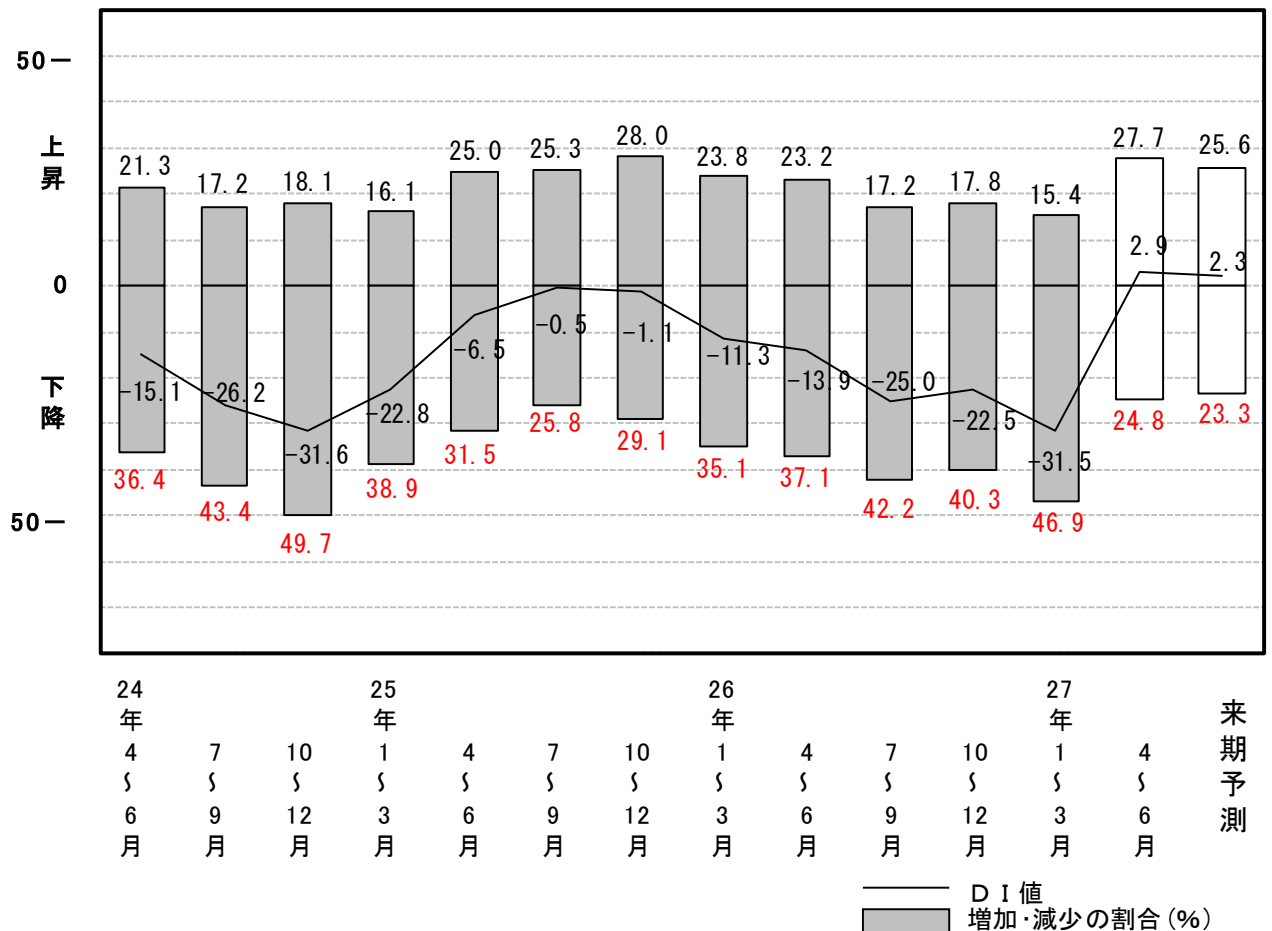
前回調査時における来期見込のD I 値は▲1.9（29.6ポイント増加見込）であったことを踏まえると、今期は前回調査時に予測していたよりも、景気が回復傾向にあったと考えられる。

また、来期見込（今期比）のD I 値は2.3で今期値より0.6ポイント減少しており、今期よりは厳しい状況になると考えている事業所の割合が多い。

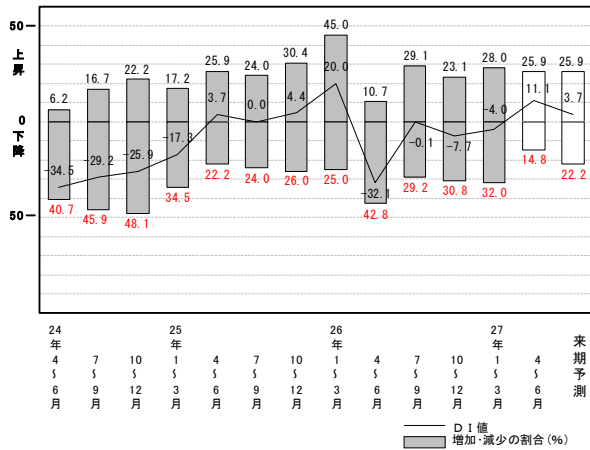
業種別のD I 値を分析すると、すべての業種において増加している。

また、来期予測に関しては、「卸売・小売業」「その他」の業種において上昇すると予測している事業所の割合が増加しているが、それ以外の業種においては下降すると予測している事業所の割合が多い。（参考図 景気D I 値の推移（各業種） 参照）

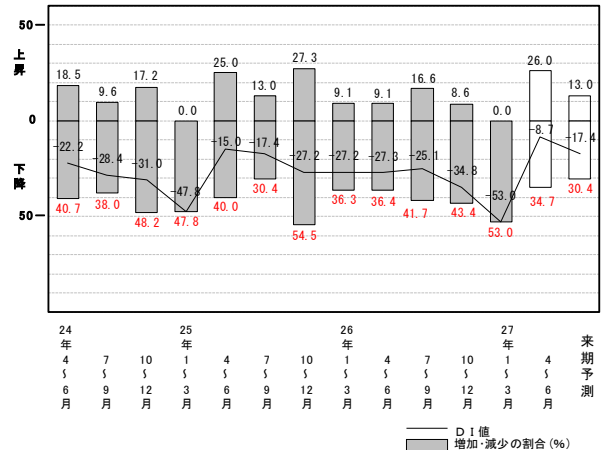
第3図 景気D I 値の推移（全体）



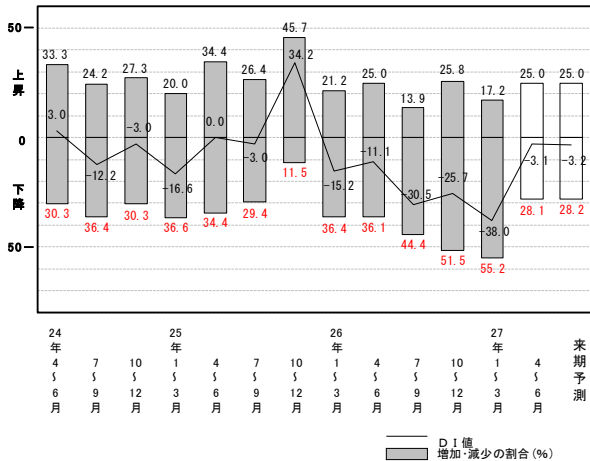
参考図 景気DI値の推移（建設・土木業）



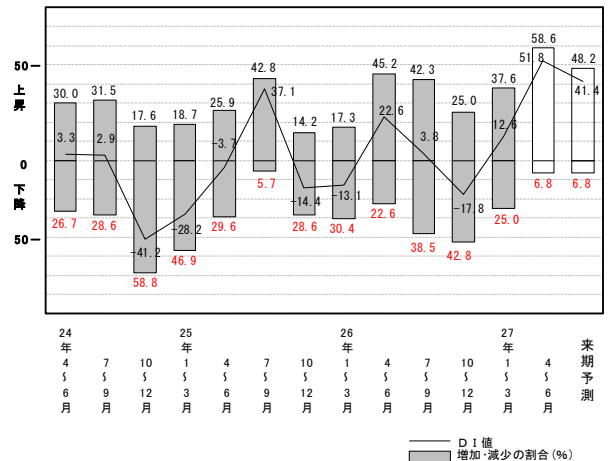
参考図 景気DI値の推移（飲食業）



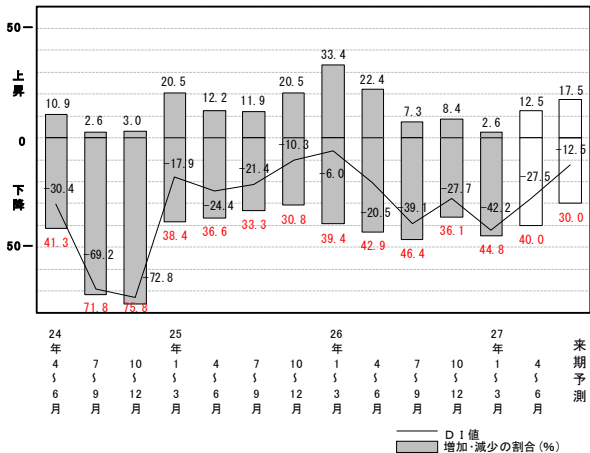
参考図 景気DI値の推移（製造業）



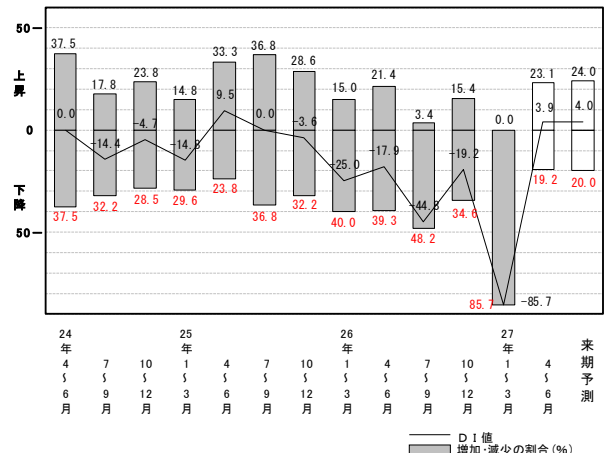
参考図 景気DI値の推移（旅館業）



参考図 景気DI値の推移（卸売・小売業）



参考図 景気DI値の推移（その他）



3. 雇用の状況

雇用状況は「過剰感」は減少、「不足感」はやや増加

今期において、雇用している人員が「過剰である」「やや過剰である」と回答した事業所の割合は8.1%で、前回(13.2%)より5.1ポイント減少した。

また、「不足している」「やや不足している」と回答した事業所の割合は29.3%で前回(29.0%)より0.3ポイント増加した。

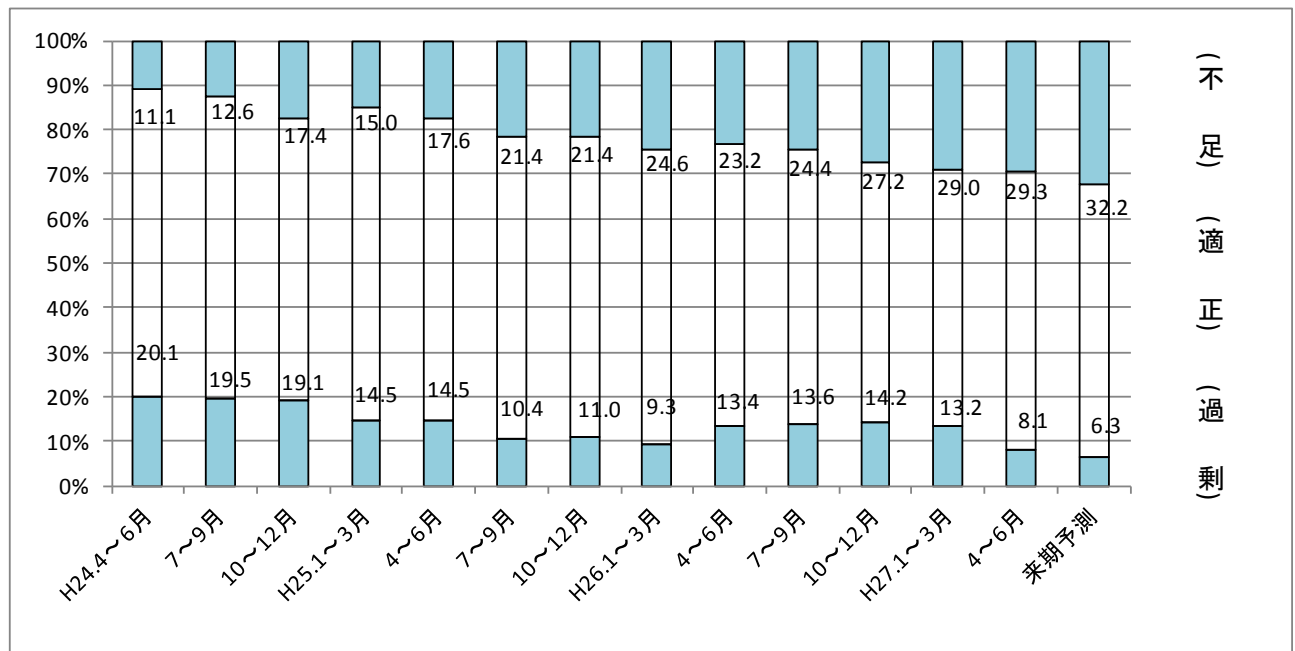
来期予測に関しては、「過剰」が6.3%で今期より1.8ポイント減少し、「不足」が32.2%で今期より2.9ポイント増加している。(第4図 参照)

業種別の数値を分析すると、「製造業」「飲食業」においては「過剰」と回答している事業所の割合が増加し、「建設・土木業」「卸売・小売業」「旅館業」「その他」においては「不足」と回答している事業所の割合が増加している。

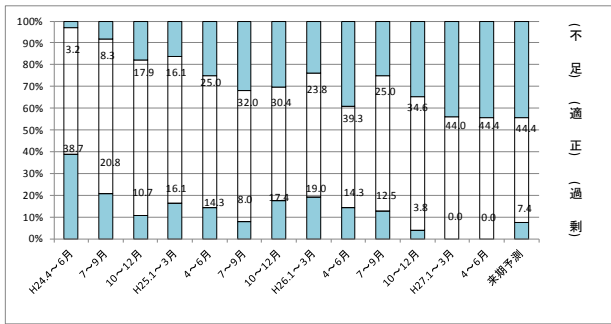
来期予測に関しては、「建設・土木業」「卸売・小売業」においては「過剰」と予測する事業所の割合が増加し、「製造業」「飲食業」「旅館業」「その他」においては、「不足」と予測する事業所の割合が増加している。

(参考図 雇用の状況の推移(各業種) 参照)

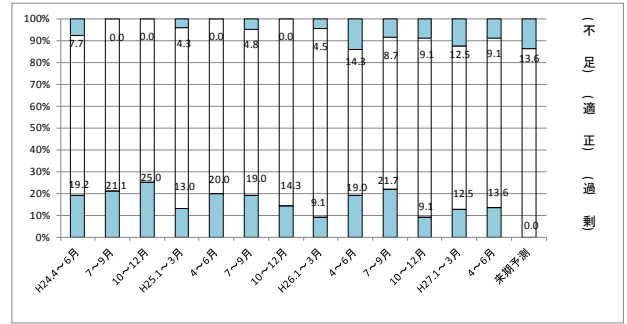
第4図 雇用の状況の推移(全体)



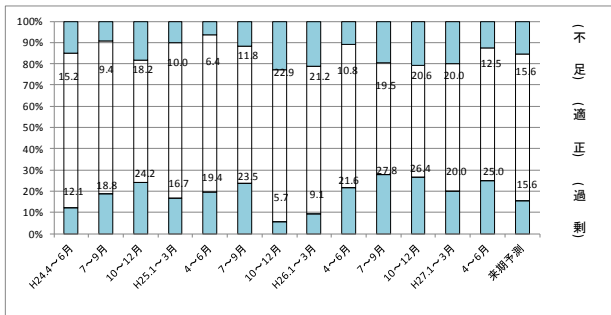
参考図 雇用の状況の推移（建設・土木業）



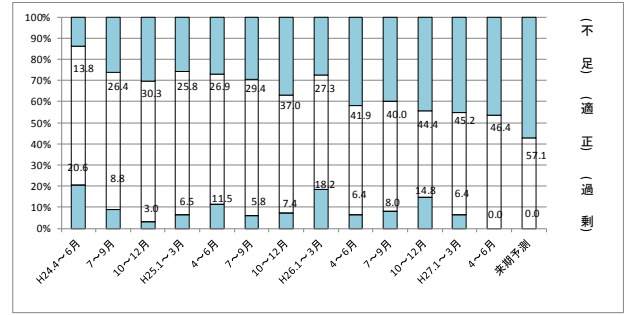
参考図 雇用の状況の推移（飲食業）



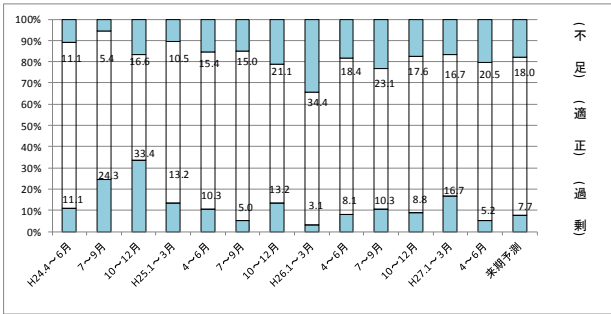
参考図 雇用の状況の推移（製造業）



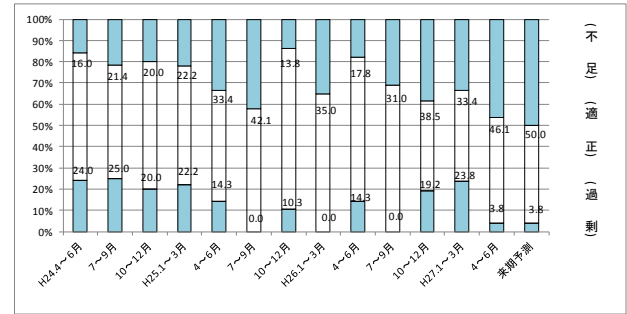
参考図 雇用の状況の推移（旅館業）



参考図 雇用の状況の推移（卸売・小売業）



参考図 雇用の状況の推移（その他）



4. 設備投資

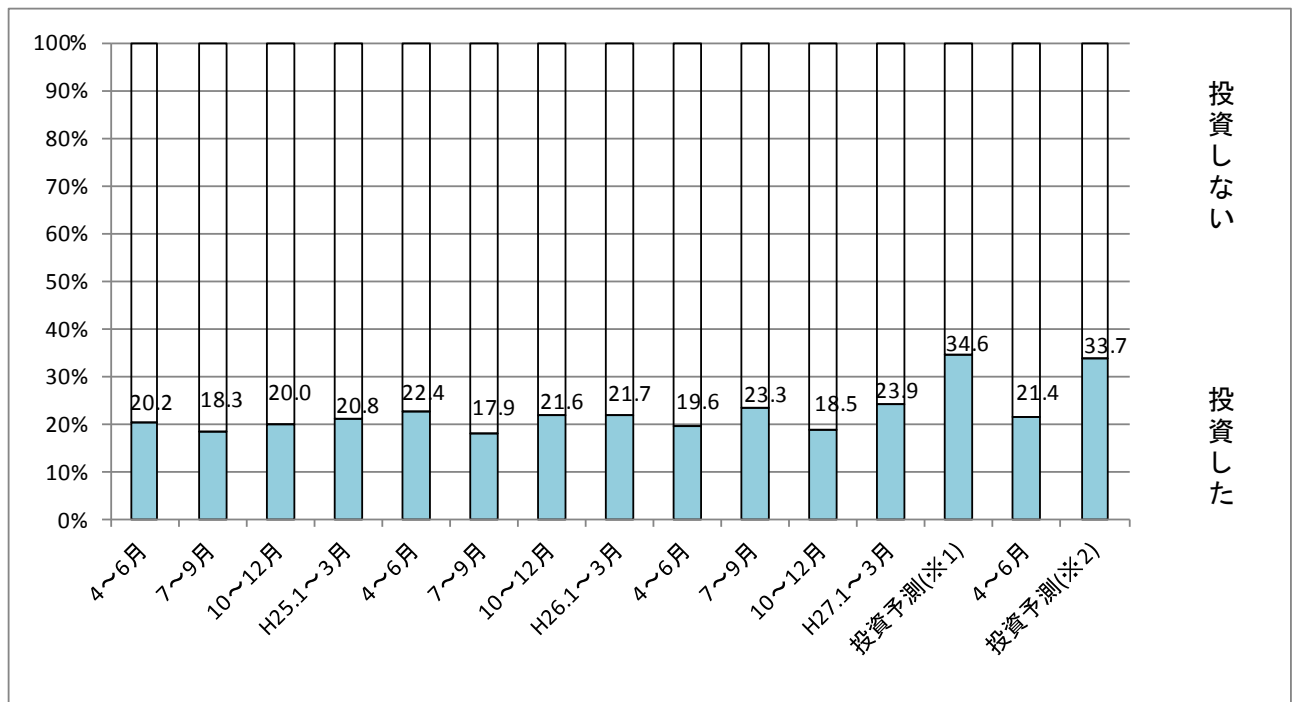
設備投資を行った事業所は減少 来期以降の設備投資計画は増加傾向

今期「設備投資をした」と回答した事業所の割合は21.4%で、前回（23.9%）より2.5ポイント減少した。（第5図 参照）また、向こう1年間の計画については、「設備投資を計画している」と回答した事業所の割合は33.7%となっており、前回調査時の予測値（34.6%）より0.9ポイント減少した。

業種別にみると、「建設・土木業」「飲食業」においては、今期の設備投資実績が前回調査の予測値を上回っており、それ以外の業種はすべて前回調査の予測値を下回っている。また、向こう1年の投資計画は、「製造業」「卸売・小売業」「飲食業」において前回調査の予測値を上回っている。

（参考図 設備投資の推移（各業種） 参照）

第5図 設備投資の推移（全体）



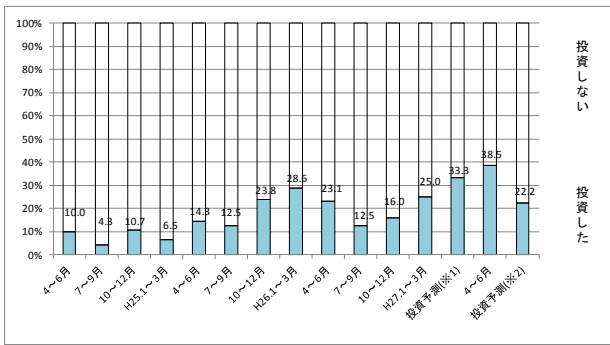
投資予測※1

前回調査（1～3月期）における向こう1年間の投資計画

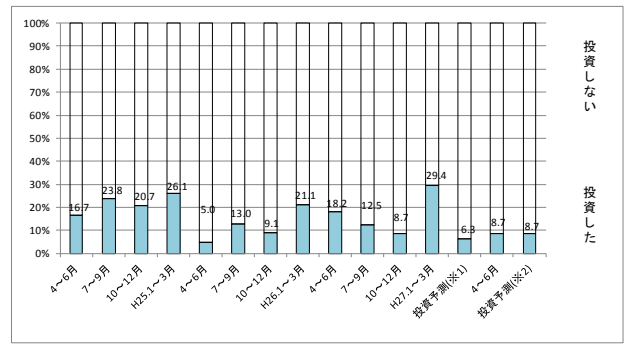
投資予測※2

今回調査（4～6月期）における向こう1年間の投資計画

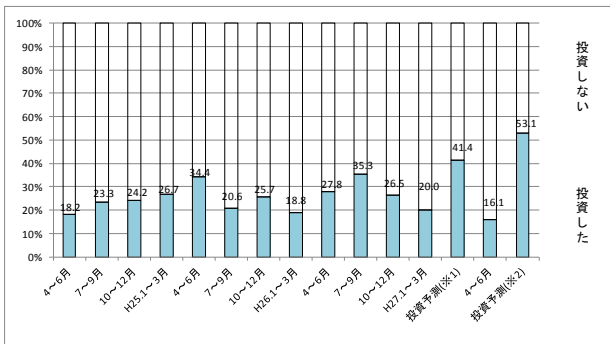
参考図 設備投資の推移(建設・土木業)



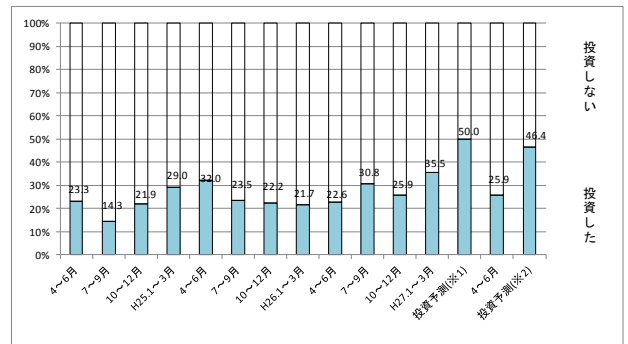
参考図 設備投資の推移(飲食業)



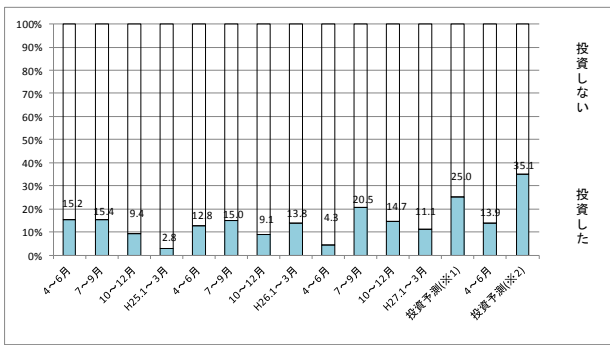
参考図 設備投資の推移(製造業)



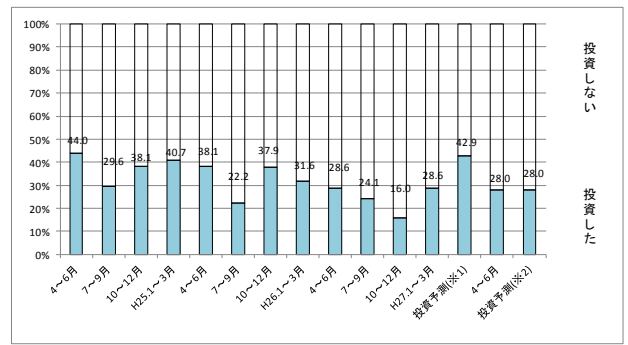
参考図 設備投資の推移(旅館業)



参考図 設備投資の推移(卸売・小売業)



参考図 設備投資の推移(その他)



景気動向調査結果業種別集計表

平成27年 4月～6月期

(単位：%)

項目	比較区分	状況	産業全体	建設土木	製造	卸・小売	飲食	旅館	その他
販売高 出荷額 工事高	(今期) 前年同期と比べて	10%以上増加	5.2	7.4	3.1	2.5	0.0	17.9	0.0
		3%以上10%未満増加	29.9	37.0	37.5	15.0	14.3	53.6	23.1
		横ばい	31.6	44.5	21.9	32.5	42.9	10.7	42.3
		3%以上10%未満減少	26.4	7.4	25.0	45.0	33.3	10.7	30.8
	(今期) 前期と比べて	10%以上減少	6.9	3.7	12.5	5.0	9.5	7.1	3.8
		10%以上増加	9.2	0.0	12.9	0.0	4.8	25.0	15.4
景気の動向 自社の景気	(今期) 前期と比べて	3%以上10%未満増加	26.6	25.9	22.6	17.5	28.6	50.0	19.2
		横ばい	38.7	48.2	32.3	45.0	42.8	21.4	42.3
		3%以上10%未満減少	19.7	11.1	29.0	35.0	19.0	0.0	15.4
		10%以上減少	5.8	14.8	3.2	2.5	4.8	3.6	7.7
	(来期見込) 今期と比べて	上昇した	7.9	0.0	9.4	0.0	4.3	20.7	15.4
		やや上昇した	19.8	25.9	15.6	12.5	21.7	37.9	7.7
雇用人員	(今期) 今期水準	横ばい	47.5	59.3	46.9	47.5	39.3	34.6	57.7
		やや下降した	18.6	7.4	15.6	32.5	30.4	3.4	19.2
		下降した	6.2	7.4	12.5	7.5	4.3	3.4	0.0
		上昇する	4.0	3.7	3.1	0.0	0.0	17.2	0.0
	(来期予想) 来期水準	やや上昇する	21.6	22.2	21.9	17.5	13.0	31.0	24.0
		横ばい	51.1	51.9	46.8	52.5	56.6	45.0	56.0
設備投資	(今期) 今期実績	やや下降する	19.3	22.2	18.8	27.5	26.1	3.4	16.0
		下降する	4.0	0.0	9.4	2.5	4.3	3.4	4.0
		過剰である	0.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0
		やや過剰である	7.5	0.0	25.0	2.6	13.6	0.0	3.8
	(来期以降) 計画(向こう1年)	適正である	62.6	55.6	62.5	74.3	77.3	53.6	50.1
		やや不足している	26.4	44.4	12.5	20.5	9.1	39.3	34.6
資金繰り	(今期) 前年同期と比べて	不足している	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	11.5
		過剰となる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや過剰となる	6.3	7.4	15.6	7.7	0.0	0.0	3.8
		適正である	61.5	48.2	68.8	74.3	86.4	42.9	46.2
	(今期) 前期と比べて	やや不足する	27.0	44.4	12.5	15.4	13.6	50.0	30.8
		不足する	5.2	0.0	3.1	2.6	0.0	7.1	19.2
原材料購入 購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	設備投資した	21.4	38.5	16.1	13.9	8.7	25.9	28.0
		設備投資していない	78.6	61.5	83.9	86.1	91.3	74.1	72.0
		//を計画している	33.7	22.2	53.1	35.1	8.7	46.4	28.0
		//を計画していない	66.3	77.8	46.9	64.9	91.3	53.6	72.0
	(今期) 前期と比べて	楽になった	2.3	0.0	9.4	0.0	0.0	3.4	0.0
		やや楽になった	13.7	33.3	6.3	10.3	4.5	17.2	11.5
購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	横ばい	56.6	44.5	49.9	58.9	63.7	58.7	65.4
		やや苦しくなった	23.4	14.8	31.3	30.8	22.7	13.8	23.1
		苦しくなった	4.0	7.4	3.1	0.0	9.1	6.9	0.0
		楽になった	4.0	0.0	9.4	0.0	0.0	6.9	7.7
	(今期) 前期と比べて	やや楽になった	11.5	18.5	9.4	2.6	13.6	17.2	11.5
		横ばい	63.9	66.7	59.3	73.7	54.6	58.7	65.4
購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	やや苦しくなった	17.2	11.1	18.8	23.7	22.7	10.3	15.4
		苦しくなった	3.4	3.7	3.1	0.0	9.1	6.9	0.0
		上昇した	15.4	7.4	25.0	12.8	4.3	31.0	8.0
		やや上昇した	52.6	66.7	50.0	35.9	69.6	55.2	48.0
	(今期) 前期と比べて	横ばい	25.1	22.2	21.9	38.5	17.5	13.8	32.0
		やや低下した	4.0	3.7	0.0	7.7	4.3	0.0	8.0
購入価格、 仕入価格等	(今期) 前年同期と比べて	低下した	2.9	0.0	3.1	5.1	4.3	0.0	4.0
		上昇した	12.0	3.7	18.8	10.3	0.0	27.6	8.0
		やや上昇した	49.7	59.3	50.0	35.9	56.5	55.2	48.0
		横ばい	35.5	37.0	28.1	48.7	34.8	17.2	44.0
	(今期) 前期と比べて	やや低下した	1.1	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0
		低下した	1.7	0.0	3.1	0.0	8.7	0.0	0.0

【参考資料】

工業指標

(単位:件,人,万円)

区 分	20年	21年	22年	24年
事業所数 (指数)	254 (100)	232 (91)	222 (87)	210 (82)
従業者数 (指数)	5,454 (100)	5,321 (97)	5,347 (98)	5,439 (99)
製造品出荷額等 (指数)	11,578,318 (100)	10,585,570 (91)	10,355,962 (89)	11,898,399 (102)

工業統計

商業指標

(単位:店,人,万円)

区 分	14年	16年	19年	24年
商店数 (指数)	1,963 (100)	1,872 (95)	1,796 (91)	1,368 (69)
従業者数 (指数)	10,141 (100)	9,989 (98)	9,586 (94)	7,439 (73)
商品販売額 (指数)	27,352,095 (100)	24,298,245 (88)	22,692,576 (82)	18,136,677 (66)

商業統計、平成24年経済センサスー活動調査

月別観光入込数(高山市全域)

(単位:人)

	観 光 入 込 数			
	26年	25年	24年	23年
1月	357,000	331,000	337,000	313,000
2月	249,000	247,000	239,000	247,000
3月	253,000	224,000	196,000	150,000
4月	404,000	389,000	361,000	261,000
5月	431,000	397,000	385,000	358,000
6月	214,000	217,000	202,000	189,000
7月	265,000	270,000	255,000	266,000
8月	438,000	475,000	464,000	436,000
9月	329,000	310,000	301,000	279,000
10月	490,000	485,000	489,000	471,000
11月	364,000	359,000	323,000	309,000
12月	231,000	241,000	217,000	202,000
累計	4,025,000	3,945,000	3,769,000	3,481,000

観光課資料

有効求人倍率(飛騨管内)

	有効求人倍率	
	27年	26年
1月	1.10	0.92
2月	1.07	0.91
3月	1.11	0.94
4月	1.14	0.99
5月	1.25	0.99
6月	1.30	1.12
7月		1.19
8月		1.30
9月		1.24
10月		1.19
11月		1.12
12月		1.09

高山公共職業安定所資料

月別観光入込数(高山地域)

(単位:人)

	観光入込数	
	27年	26年
1月	178,000	171,000
2月	172,000	153,000
3月	181,000	165,000
4月	401,000	386,000
5月	464,000	426,000
6月	169,000	157,000
7月		145,000
8月		287,000
9月		215,000
10月		449,000
11月		361,000
12月		208,000
累計	1,565,000	3,123,000

観光課資料